

学校はどうか？ <消費税の使いみちを考えてみよう!!>

ある4つの国(A、B、C、D)があります。

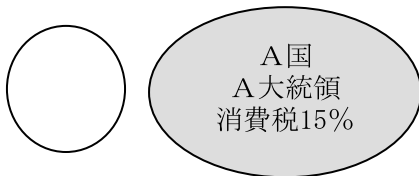
この4つの国の消費税の使いみちは、学校だけに限られており、消費税率を上げたり下げたりすることで学校の様子がかかなり変わってきます。

さて、今までは、4つの国とも消費税率は8%(日本と同じ)でしたが、今回、A国は消費税率を15%に、また、B国は消費税率を10%に変え、そして、D国は消費税をなくすことにしました。

そうした場合、それぞれの国の学校はどのようなになるか皆さんで考えてみましょう。

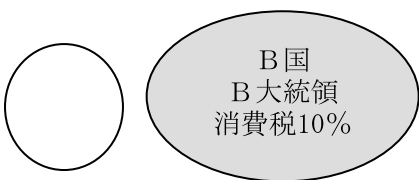
なお、消費税が高いほど、学校のいろいろなところを良く変えることができますが、その反面、その国に住んでいる人の納める消費税は多くなります。

10,000円の物を買うと、1,500円の消費税がかかる。



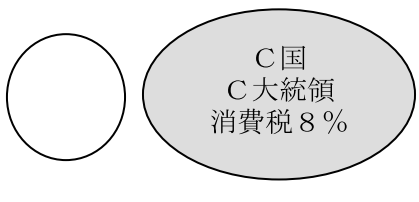
《学校はどう変わる》

10,000円の商品を買うと、1,000円の消費税がかかる。



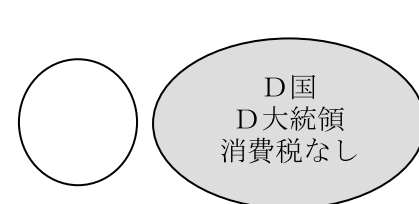
《学校はどう変わる》

10,000円の商品を買うと、800円の消費税がかかる。



日本と同じ消費税であり、学校の様子は一緒である。

10,000円の商品は、10,000円である。



《学校はどう変わる》

《学校で税金が使われているものの例》

教科書、机、イス、校舎、体育館、運動場、教室、給食、テレビ、パソコン、黒板、図書室、トイレ など